

2025年度 大学入学共通テスト 英語 筆記(本試験) 分析

試験時間 80 分

難易度	出題分量	出題傾向
やや易 第 1、2、3問 易 第 4 問 やや易 第 5、6、7、8 問 標準	減少 全体の語数、 マーク数ともに減	問題構成に変更あり 大問 6 問→8 問へ

総評

大問が 6 問→8 問へと増加したため、全体的に問題が増加したように感じたかもしれないが、内容はシンプルで、基本的な単語熟語力、文法力で読み解くことができる。ひっかけ選択肢もほぼなく、明らかに本文と関係のない語が用いられるなど、正解肢ではないと判断をしやすい設問も散見した。全体的に易化したと言え、特に国公立大や難関私大を目指す受験生にとっては英語レベルよりも試験時間との戦いであっただろうと推測される。

大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	設問別分析
第1問	家庭用水槽についてのパンフレット	6 点	水槽の中をどうデコレーションするかのポイントをまとめたパンフレットを読む問題。どの魚にどのような条件が必要なのかを読み取る。イラストの違いをよく見て答える設問あり。
第2問	空飛ぶ乗り物についての資料(シンポジウムのまとめ)	12 点	空を飛ぶ乗り物についての 3 人の意見をまとめた文章。全員一致の意見や、1人のゲストだけが述べている意見などを区別して読み取る。本文では全く触れられていない単語が選択肢に登場するなど、却下しやすい選択肢もあり。
第3問	バンドリーダーのエッセイ	9 点	バンドがコンテストに向けて練習するようすを綴ったエッセイ。リーダーの言葉で当時の出来事や気持ちが語られている。人物の名前が複数登場するが、ストーリーはシンプルでわかりやすく、問題が求めているポイントも明確で、解きやすい。
第4問	スローライフについてのエッセイ	12 点	スローライフに関するエッセイに対し、先生からもらったコメントを元に、文章を改善していく問題。 14は前後の論理関係を把握する問題で、それ以外は各段落の内容理解問題。明らかに本旨とずれる選択肢もあり、正答を導きやすい。

第5問	イベント運営ボランティアに関するメールのやり取り	16点	大学のボランティア活動で、イベントの運営担当となった学生と教授とのメールのやり取りを読み解く。イベント当日のタイムテーブル、今後決めるべきこと、学生からの質問・相談、要点がきれいに分かれており、理解しやすい。最後に机のレイアウトを指示した文の読み取り問題もあり。
第6問	小説家を目指す友人の作品「Bluebird and Melody:Real heroes」	12点	小説家を目指す友人の作品を読んで、感想とアドバイスを送ったやり取りを読み解く問題。ほぼ物語文の内容一致問題として解答できる。設問と段落ごとに問われている内容がはっきりしているため、答えの根拠を見つけやすい。
第7問	動物の睡眠パターン(評論)とその要旨まとめのメモ	16点	動物の睡眠についての評論文を読み、要点をまとめたメモの空欄を埋める問題。内容の理解度が問われる。本文の内容を正しくグラフ化した選択肢を選ぶ問題など、新しい形式も見られた。本文中には unihemispheric など見慣れない単語も登場するが、前後の内容から文脈上の判断で読み進めることができる。
第8問	宇宙開発に関する複数の意見	17点	宇宙開発に関する5人の意見を読み取り、自分のレポートの準備を進めるためにまとめを行う問題。5人の意見はどれも比較的わかりやすく、賛成か反対かを読み取りやすい。主に [39], [42] はそれまでのものと比べて選択肢の文が長くなり、正答肢を導くのに手間取るようにも見えるが、その記載自体は単語レベルも平均的で、複雑なひっかけはない。

来年以降の受験生へ ワンポイントアドバイス

近年の共通テストでは、問題が受験生に求める力がより一層明らかになり、英文そのものや選択肢の難易度よりも、素早い処理能力を持つ受験生に有利な形式となっている。そのため、1, 2 年生では今まで以上に基礎的な単語熟語力、読むための文法力の定着が求められる。出来るだけ早い段階で、試験の形式を踏まえて時間配分を考える学習に進むことが望ましい。